

News Letter Vol.2



第7回国際交流センター連絡協議会・講演会終了

内容

1. 幹事挨拶

衛藤義勝

山城雄一郎

2. 第7回協議会について

第7回世話人 屋代隆

3. 幹事名簿

4. アンケート集計結果

全国医科大学国際交流センター連絡協議会

代表幹事 衛藤 義勝

この都度第7回国際交流センター会議が自治医科大学西野宏教授、屋代隆教授により大変素晴らしいプログラムの下に栃木の緑豊かな自治医大で開催された。又永井良三学長のご挨拶も頂き、実りある会議で、全国の医科大学28施設から多数の参加を頂いた。今回7回目で初めて東京圏以外の場所で開催された意義は大きく、これからも徐々に全国規模での開催を進めていくための試金石になったことは大きく、これから全国展開を目指して活動を進めて行くことが期待される。最近の日本の医学生を含め学生が内向き志向が強い中、このような活動を通じて確実に全国医科大学の国際交流が発展していくことが、会を重ねる毎に感じられる。ご承知の如く中国、韓国、タイその他アジア諸国の経済的発展と共に医療、医学分野でのレベルも上がり、日本を凌駕する分野もある。わが国の国際的医療人の養成は急務であり、グローバルに活躍できる若き医師を育てることの重要性は言を待たない。国際会議で堂々渡り合える人材、リーダーシップを発揮出来る人材育成、国際的医学、医療レベルの向上に向け、全国の医科大学の情報共有、協力体制の構築は極めて重要であり、本連絡協議会の全国展開の役割は極めて大きい。毎回の協議会でお互い、国際交流の様々な企画を学びあい、刺激していくことは、我が国の医科大学の国際交流事業に大きく貢献するものと期待する。

最後に今回大変素晴らしい企画でご努力頂いた自治医科大学西野、屋代両教授並びにご支援頂いた先生方に深く感謝申し上げます。

全国医科大学国際交流センター連絡協議会

幹事 山城 雄一郎

自治医科大学西野宏教授、屋代隆教授による昨年来の周到なご準備と素晴らしい企画で第7回の当会義が自治医科大学永井良三学長のご臨席の下、自治医科大学で開催されました。

全国28大学から70名余の関係者が参加され、各大学の国際交流の現状や課題、学生らの発表があり、興味深い内容でした。また、自治医科大学卒業臨床研修センターAlan T. Lefor教授の特別講演で日本の医学生の臨床実習がobserverに終始している制度上の問題も絡む指摘があり、更に昨今の国際情勢の不安定化を反映して学生の海外派遣に関連する危機管理システムの構築が契機的重要課題が発信されました。

既に一部の大学では対応策を整えていて情報提供を頂いております。当協議会が中心になって危機管理システムにより良い情報提供に貢献出来る可能性は高く、その為の委員会を設置して来年の当協議会までに共通の危機管理システムを提供出来ればと考えております。ご意見を頂ければ幸いです。

最後に自治医科大学西野、屋代教授とご支援頂いた関係者の方々に深謝致します。

第7回 全国医科大学国際交流センター 連絡協議会・講演会

【日時】平成28年7月22日(金)
【会場】自治医科大学医学部



プログラム

司会：西野宏（自治医科大学医学部耳鼻咽喉科教授、国際交流委員会委員長）
屋代隆（自治医科大学医学部解剖学講座教授、国際交流委員会副委員長、IMC顧問）

- 開会のあいさつ
 - 挨拶 14:00-14:05
衛藤義勝（世話人代表幹事、東京慈恵会医科大学名誉教授）
 - 挨拶 14:05-14:10
永井良三（自治医科大学学長）
- 連絡協議会
 - 14:10-14:30 自治医科大学医学部における国際交流の紹介
屋代 隆
 - 14:30-15:50 各医科大学における国際交流の現状と課題
参加各大学代表者（一枚3分間、パワーポイントスライド3枚程度）
- 講演会
 - 16:00-16:40
「特別講演」日米の医科大学における卒前・卒後教育の相違と特徴
アラン・レフォー（自治医科大学医学部卒後臨床研修センター教授）
 - 16:40-16:55
自治医科大学における特別大学院留学制度を利用して
Naranbat Nasanbuyan（自治医科大学医学部大学院博士課程4年、国立モンゴル医科大学出身）
 - 17:00-17:15
IFMSAによる医学生・国際交換留学制度の運用と現状
齋藤恵理子（福島県立医科大学5年、IFMSA-Japan 2016 President）
 - 17:15-17:30
JIMSAにおける医学英語学習活動について
小野円香（埼玉医科大学4年、JIMSA 2016 President）
 - 17:30-17:45
アジア諸国における医学生の国際交流活動について
新井佐和子（女子医科大学5年、AMSA-Japan 2016 President）
- 閉会のあいさつ 山城雄一郎（世話人幹事、順天堂大学大学院教授）
- 懇親会 18:00-19:00 西洋堂レストラン（大学構内）

第7回 全国医科大学

国際交流センター連絡協議会 講演会

2016年

7月22日 金 14時～

会場：自治医科大学医学部教育・研究棟1F講堂

プログラム

- 情報交換会（各大学国際交流担当教員・職員）
14:00-16:00
- 講演会（アランレフォー教授、その他）
16:00-18:00
 - 日米の医科大学における卒前・卒後教育の相違と特徴
 - 自治医科大学における特別外国人大学院制度を利用して
 - IFMSAによる医学生・国際交換留学制度の運用と現状
 - JIMSAにおける医学英語学習活動について
 - アジア諸国における医学生の国際交流活動について
- 懇親会 18:00-19:00



お問い合わせ：

自治医科大学医学部国際交流センター
電話 0285-58-7044
E-mail: kokusa@jichi.ac.jp

国際交流センター連絡協議会事務局
監理幹事 研究開発部・先端医療研究センター・遺伝医療研究部
電話 044-322-0654（電子書後 3229）

第7回全国医科大学国際交流センター連絡協議会・講演会を終えて

第7回 全国医科大学国際交流センター 連絡協議会・講演会

世話人 屋代 隆（自治医科大学医学部）

都心から少々離れた栃木県にあります自治医科大学での開催であったため、どのくらいの皆様方にお集まりいただけるのか、少々不安でした。結果としては、杞憂。総計28大学、そして70名を超える参加者数に驚くほどでした。当初、懇親会の参加者数は40くらいか、として準備をしましたが、当日、飲み物やお料理の数・量が足りないのでは・・・、と逆の心配をするほどの盛会となりました。

連絡協議会・講演会を区別するために、新しい試みとして参加各大学から短い「各医科大学における国際交流の現状と課題」と題するご発表をいただきました。事前準備が大変でしたが、ほとんどすべての大学の現状をまとめて知ることができ、大変よかったと思っています。特に、昨今の世界状況の変化から、「危機管理」「安全管理」に注目が集まりました。派遣学生に対するリスク管理、受け入れ学生に対する損害保険、等すでに取り組んでいる大学もあり、それらの情報共有ができれば、参加各大学にとってメリットのあることになろうかと思います。連絡協議会後であっても、メーリングリストなどを用いることにより、密接な情報交換が継続できるのではないのでしょうか。

最後に、IFMSA-J、JIMSA、AMSA-Jの各代表の現役学生さんに、学生自身による国際交流活動の現状を発表していただきました。素晴らしい活動内容に加えて、素晴らしいプレゼンテーション。キラキラと輝く若者たちに刺激と元気をもらうことができました。

幹事名簿

衛藤 義勝	東京慈恵会医科大学名誉教授
山城 雄一郎	順天堂大学大学院プロバイオティクス研究講座
渡辺 秀人	愛知医科大学国際交流センター長
河野 公一	大阪医科大学中山国際医学医療交流センター
角江 司	大阪医科大学中山国際医学医療交流センター
馬場 幸子	大阪大学医学部医学科国際交流センター副センター長
徳田 雅明	香川大学医学部形態・機能医学講座 細胞情報生理学
上田 善道	金沢医科大学病理学II、国際交流センター長
澁谷 良穂	金沢医科大学一般教育機構長 英語、国際交流センター副センター長
友田 幸一	関西医科大学耳鼻咽喉科
石崎 泰樹	群馬大学大学院医学研究科教授
小林 道也	高知大学医学部医療管理学講座教授
茅野 秀一	埼玉医科大学病理学准教授、国際交流センター兼担
チャド・ゴッドフリー	埼玉医科大学教養教育部門講師(国際交流センター兼担)
小田 康友	佐賀大学医学部
屋代 隆	自治医科大学医学部解剖学講座組織学部門教授
後閑 武彦	昭和大学放射線科教授
橋本 みゆき	昭和大学国際交流センター准教授
本間 生夫	昭和大学医学部第二生理学教室
松本 直樹	聖マリアンナ医科大学卒前医学教育国際交流委員会委員長
田中 誠	筑波大学大学院人間総合科学研究科
森尾 郁子	東京医科歯科大学国際交流センター
ジェミー・ウィリアムス	東京医科大学国際医学情報学分野主任教授
J.Patrick.Barron	東京医科大学国際医学情報学講座
南沢 享	東京慈恵会医科大学細胞生物学
福田 国彦	東京慈恵会医科大学放射線医学講座
芦田 ルリ	東京慈恵会医科大学国際交流センター
遠藤 弘良	東京女子医科大学国際交流委員会室教授
鈴木 光代	東京女子医科大学国際交流委員会室准教授
大黒 史子	東京女子医科大学国際交流委員会室室長
丸山 稔之	東京大学医学部
舘田 一博	東邦大学医学部国際交流センター長
松井 秀親	東邦大学医学部国際交流センター
千種 雄一	獨協医科大学医学部教授、海外研修委員会委員長
ヴォルフガング・R・アーデ	獨協医科大学医学部海外研修委員会日獨連携推進室 副室長
ウィリアム・G・ハセト	獨協医科大学医学部海外研修委員会基本医学語学・人文教育部門講師
安藤 千春	獨協医科大学国際交流センター
粕谷 英樹	名古屋大学大学院医学系研究科国際連携室
ブランコ・アレクサンダー	名古屋大学大学院医学系研究科国際連携室
新田 隆	日本医科大学国際交流センター長
藤原 哲也	福井大学医学部国際社会医学講座教授
関根 英治	福島県立医科大学 医学部教授、国際交流担当
谷口 孝喜	藤田保健衛生大学医学部国際交流推進センター長
吉岡 充弘	北海道大学 医学部薬理学講座
丸山 治彦	宮崎大学医学部感染症学講座教授、国際交流室長